

2020 年度 生体機能代行装置学Ⅲ-1

学 科		臨床工学技士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		生体機能代行装置学Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		2年生		学期及び曜時限	通年	教室名	402教室
担 当 教 員		加藤 智久	実務経験と その関連資格	病院勤務を9年 3学会合同呼吸療法認定士			
《授業科目における学習内容》							
呼吸療法装置の適切な操作と保守点検ができるようにその種類、原理・構成を呼び適応疾患について学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
中間テスト4割・モードテスト2割・期末テスト4割で評価							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
臨床工学講座 呼吸療法装置学、その他配布資料							
《授業外における学習方法》							
単元毎の小テストを自宅で取り組む							
《履修に当たっての留意点》							
講義の前に復習を行うため、家庭学習での復習が重要となる							
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	プラトーを理解し、CMVの種類を覚える		臨床工学講座 呼吸療法装置学	授業ノートの提出	
		各コマに おける 授業予定	VCVの特徴とCMV				
第 17 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	PEEPとEIPを理解し、自発呼吸の特徴を覚える		臨床工学講座 呼吸療法装置学	授業ノートの提出	
		各コマに おける 授業予定	酸素化療法、PTVの概要				
第 18 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	補助換気を中心に種類と特徴を説明できる		臨床工学講座 呼吸療法装置学	授業ノートの提出	
		各コマに おける 授業予定	各モードの種類				
第 19 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	通常時の血液ガスと人工呼吸器の開始基準との違いを説明できる		臨床工学講座 呼吸療法装置学	授業ノートの提出	
		各コマに おける 授業予定	人工呼吸器の開始基準とNIPPV				
第 20 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	正常、人工呼吸器開始、ウィーニング、抜管の血液ガスを比べ 違いを理解する		臨床工学講座 呼吸療法装置学	授業ノートの提出	
		各コマに おける 授業予定	ウィーニングと抜管				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	使用前点検、使用中点検、使用後点検の種類の違いを説明できる	臨床工学講座 呼吸療法装置学	授業ノートの提出
		各コマにおける授業予定	人工呼吸器の点検の注意		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	それぞれの点検項目を理解し、覚える	臨床工学講座 呼吸療法装置学	小テストを自宅で実施 授業ノートの提出
		各コマにおける授業予定	人工呼吸器の点検の概要		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	パルスオキシメータの使用方法和構造を説明できる	臨床工学講座 呼吸療法装置学	授業ノートの提出
		各コマにおける授業予定	パルスオキシメータについて		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	カプノメータの使用方法和構造を説明できる	臨床工学講座 呼吸療法装置学	授業ノートの提出
		各コマにおける授業予定	カプノメータについて		
第25回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅酸素療法についての特徴を説明できる	臨床工学講座 呼吸療法装置学	小テストを自宅で実施 授業ノートの提出
		各コマにおける授業予定	HMVについて		
第26回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	小児特有の病気と特徴を説明できる	臨床工学講座 呼吸療法装置学	授業ノートの提出
		各コマにおける授業予定	小児呼吸の特徴と症状		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	成人と小児との人工呼吸のモードの種類と違いを説明できる	臨床工学講座 呼吸療法装置学	小テストを自宅で実施 授業ノートの提出
		各コマにおける授業予定	小児に対する人工呼吸療法		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	全身麻酔と部分麻酔の種類を説明できる	臨床工学講座 呼吸療法装置学	授業ノートの提出
		各コマにおける授業予定	麻酔とは		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	麻酔器の目的や構造を説明できる	臨床工学講座 呼吸療法装置学	小テストを自宅で実施 授業ノートの提出
		各コマにおける授業予定	麻酔の歴史、麻酔器について		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	生体機能代行装置学Ⅲで学んだ内容を把握する	臨床工学講座 呼吸療法装置学	まとめ小テストを自宅で実施
		各コマにおける授業予定	総まとめ		